

2019年8月14日

アフラック・インコーポレーテッド株式の取引市場一本化について

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏）の親会社であるアフラック・インコーポレーテッド（会長兼最高経営責任者：ダニエル P. エイモス）は、この度、取締役会において、同社普通株式の取引市場をニューヨーク証券取引所へ一本化し、東京証券取引所に対して上場廃止を申請することを決定しましたのでお知らせします。なお、アフラック・インコーポレーテッドの上場廃止は、東京証券取引所の承認を前提として10月上旬頃を予定しています。

1974年に日本で事業を開始した後、アフラック・インコーポレーテッドは日本における知名度の向上を目的として、1987年12月に東京証券取引所に上場しました。そして現在、アフラック※は1500万人を超えるお客様から2400万件以上のご契約をお預かりする生命保険会社にまで成長しました。また、昨年4月には、会社形態を米国法人の日本支店から日本法人（アフラック生命保険株式会社）へ変更し、日本社会へのさらなる貢献に向けて新たな一歩を踏み出すこともできました。

このような状況のもと、東京証券取引所におけるアフラック・インコーポレーテッド株式の取引量が少ないこと等に鑑み、アフラック・インコーポレーテッドの取締役会は、今般、取引市場をニューヨーク証券取引所へ一本化し、東京証券取引所に対して上場廃止の申請を行うことを決定しました。

また、今回の上場廃止が、日本におけるアフラックのビジネスに与える影響はありません。

※創業から2018年4月の日本法人化まではアメリカン・ファミリー・ライフ・アシュアランス・カンパニー・オブ・コロンバスの日本支店。

本件については、東京証券取引所の適時開示情報閲覧サービス（TDnet）に以下のとおり開示しております。

■2019年8月14日公開情報

URL:<https://www.release.tdnet.info/inbs/140120190814488173.pdf>

なお、本情報は東証上場会社情報サービスからも検索できます。